福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

FaN
Fukuoka Art Next

6月12日から、「コレクションハイライト」を開催します！

近現代美術室（A・C）では、年に1度大規模な展示替えを行い、コレクションを紹介しています。
今年度は 展示空間に新たな演出 を施すとともに、
「耳で楽しむ『おもしろキャプション』」 を開始するなど、新たな試みを行います。
また、今期からすべての展示室で作品の 写真撮影が可能 となります。

コレクション展（近現代美術）

コレクションハイライト

「コレクションハイライト」とは、16,000点以上に及ぶ当館のコレクションから、近現代美術作品の一部を展示し、20世紀以降のアートの展開を紹介する通年展示のことです。



（令和6年度の展示風景）

今年度の展示内容は下記の通りです。

◆展示室A：「作品と語ろう」

展示室Aは、「語らい」をキーワードにします。美術館といえば、おしゃべりせず、静かに鑑賞するものという先入観を外し、作品同士の共通点や違いを「おしゃべり」として鑑賞していただきます。実際に展示室でおしゃべりすることも大歓迎です。

◆展示室C：「4つの視点」

展示室Cでは、4つの展示エリアごとに異なるテーマから作品を集め、紹介します。

【テーマ】

① 広がる絵画の地平
② 移動、ひらめき
③ 仮想の風景を眺める
④ 創造の翼

ぜひ気になるテーマをたどりながら、新たな作品との出会いをお楽しみください。

注目ポイント　展示空間に新たな演出

普段はシンプルな空間を生かしている近現代美術室。今回は、1つ目の展示室Aの一部の壁面の色を変えたり、ピクトグラムを用いたグラフィックデザインを加えるなど、展示テーマにふさわしい空間演出を施しています。ぜひ変化にご注目ください。

注目ポイント　「耳で楽しむ『おもしろキャプション』」を開始

会場内で、音声ガイド「耳で楽しむ『おもしろキャプション』」を聞くことができます。
『おもしろキャプション』では作品について学芸員だけが知っている特別なエピソードや裏話、また美術館職員の超・主観的作品紹介を楽しむことができます。
展覧会の会場でだけ聞くことができる『おもしろキャプション』をぜひお楽しみください。
※　ご利用には、ご自身のスマートフォンとイヤホンが必要です。

お知らせ　作品の写真撮影が可能に

6月より、近現代美術室A～C全てのコレクション展示室で、一部作品を除き、原則全作品の写真撮影をすることが可能になりました。
ただし、私的利用に限ります。
展示室内にルールを表示いたします。撮影の際はルール・マナーを守り、周りのお客様にご配慮いただくようお願い申し上げます。